

昨日、3年生が胸を張り、笑顔で袋井南中を卒業し、巣立っていきました。とても立派で、心に残る卒業式でした。あの感動的な式をつくることができたのは、在校生の皆さんが心を込めて準備をしてくれたおかげです。本当にありがとうございました。

3年生がいなくなった体育館は、少し寂しく感じます。しかし、今、こうして1・2年生の皆さんの姿を見ていると、袋井南中のこれからがとても楽しみになってきます。

この1年間で、皆さんは大きく成長しました。

2年生は、委員会活動や部活動で1年生をリードし、学校の中心として動く姿が多く見られるようになりました。

1年生も、自分から動き、自分たちで進めていこうとする姿が、学校生活の中で増えてきました。

そして、袋井南中が大切にしている「自分も、周りの人も幸せを感じることができる」学校。つまり、「ウェルビーイング」の心が、皆さんの心の中に、少しずつ育ってきているように感じています。

さて、皆さんはこの1年間、それぞれの目標に向かって努力を重ねてきました。だからこそこの春休みは、少し立ち止まって考えてみてほしいことがあります。1年後、2年後、どんな自分になって中学校を卒業したいのか。将来、どんな自分になりたいのか。そんなことを考える時間をつくってみてください。

小学校5年生の道徳の時間に学んだ、大谷翔平選手の「マングラチャート」を覚えているでしょうか。夢実現のための具体的な目標が掲げられていましたね。そして、同じくメジャーリーグで活躍したイチロー選手は、こんな言葉を残しています。

「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」

皆さんにとって、「とんでもないところ」とは、どんな場所でしょうか。どんな自分、どんな生き方でしょうか。その姿を思い描きながら、そのために今、自分は何を積み重ねていけばよいのか。そんなことを考える春休みにしてほしいと思います。春休みは、次の学年へ進むための大切な準備の時間です。皆さんがそれぞれの「とんでもないところ」に向かって歩き出すための準備期間でもあります。

最後になりましたが、皆さんの進級を心からお祝いします。

4月、学年が一つ上がり、さらにたくましくなった皆さんが、胸を張って袋井南中の門をくぐってくることを楽しみにしています。